

## プレゼンテーション法 (2 単位)

担当者氏名 阿久澤さゆり、阿部尚樹、上原万里子、大石祐一、川野 因、清水 誠、鈴野弘子、  
田中越郎、富澤元博、中江 大、服部一夫、本間和宏、松崎広志

### ◆学習・教育目標（到達目標を記載）

研究成果の公表・発表は研究者の責務である。それゆえ、本カリキュラムでは専攻内の全指導教授の連携のもと、学会などで口頭やポスターなどにて本受講者が筆頭者として効果的に発表できることを到達目標とする。学会発表の第一段階である要旨の作成に始まり、学会などの発表に際して、自分の研究内容を的確、かつ、分かりやすく説明・発表するまでのプロセスを理解し、実践する。更には、国内外の学会あるいはセミナーなどにも参加し、より効果的なプレゼンテーション技術を獲得することを目指す。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

|         |         |         |           |
|---------|---------|---------|-----------|
| 食品安全解析学 | 食品安全評価学 | 食品利用安全学 | 分子機能学     |
| 生理機能学   | 生体環境解析学 | 食品科学    | フードマネジメント |
| 栄養生理化学  | 保健栄養学   | 臨床栄養学   |           |

### ◆授業の進行等について

|    | テーマ         | 内 容                   | 準備学習(予習復習)等の内容と分量                                                                                                        |
|----|-------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 学会発表とは      | 学会に発表する事の意義を説明する      | 準備学習としては次回までに板書や実験ノートなどを利用し、議論を整理し、しっかり準備しておくことが良い。復習については、本カリキュラム中に改めて明らかになった事柄や内容を整理・確認しておくことがよい。<br>(準備学習・復習で 3 時間程度) |
| 2  | 学会の選定       | 発表する学会を選定・決定する        |                                                                                                                          |
| 3  | 学会要旨の作成指導 1 | 学会基準の要旨の作成法を確認する      |                                                                                                                          |
| 4  | 学会要旨の作成指導 2 | 学会基準の要旨を添削し、返却する      |                                                                                                                          |
| 5  | 学会要旨の作成指導 3 | 学会要旨の添削と返却            |                                                                                                                          |
| 6  | 学会参加手続き     | 要旨内容の最終確認と学会参加手続きの確認  |                                                                                                                          |
| 7  | セミナーへの参加 1  | 学会での発表形式の確認           |                                                                                                                          |
| 8  | セミナーへの参加 2  | 学会発表での効果的データ提示方法の確認 ① |                                                                                                                          |
| 9  | セミナーへの参加 3  | 学会発表での効果的データ提示方法の確認 ② |                                                                                                                          |
| 10 | 研究成果の発表練習 1 | 研究結果報告と経過報告、課題の確認 ①   |                                                                                                                          |
| 11 | 研究成果の発表練習 2 | 研究結果報告と経過報告、課題の確認 ②   |                                                                                                                          |
| 12 | 研究成果の発表練習 3 | 研究結果報告と経過報告、課題の確認 ③   |                                                                                                                          |
| 13 | 研究成果の発表練習 4 | 研究結果報告と経過報告、課題の確認 ④   |                                                                                                                          |
| 14 | 学会発表        | 学会発表                  |                                                                                                                          |
| 15 | 学会発表を終えて    | 学会発表で受けた質問などへの課題の確認   |                                                                                                                          |

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）  
特になし

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）  
学会や研究会に参加し、多くの口頭やポスター発表形式に触れ参考にする。

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

学会発表を前提に自分の研究内容を紹介し、プレゼンテーション時の質疑応答を含めて評価する。

### ◆オフィスアワー

それぞれの担当教員の指示に従う。

◆その他受講上の注意事項

本講義履修に際して、研究指導教員と事前に十分相談する事、そして、多くのプレゼンテーションの機会に参加し、自らのプレゼンテーション・スキルの向上を目指すよう務める事が望ましい。

(オフィスアワー※：各・指導教員と相談し設定する事 )

---